

WS 5	切迫を読む―現代の文学から				※講義の後に討論あり
	【定員】 30名		【受講料】 2年・1年会員ともに 9,270円 聴講生 10,810円		
	【歴史・文学・人間学】 文学 ワークショップ 【時間】 毎回13時00分～15時00分（計6回）				
概要	現代の文学作品は、現代特有の時間を、日常を、社会のありようを突き破ろうとする切迫感に満ちています。新しさゆえに、しばしば読み手としてそれを感得することが難しい、この現代を生きる中での切迫を、受講生の方々と読み解いていきたいと思います。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
0	10/1(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	ガイダンス	運営世話人	
1	10/8(水)		大江健三郎『ピンチランナー調書』（単行本初出1976年、のち新潮文庫）	明治大学兼任講師 西岡 宇行	
2	10/22(水)		大江健三郎「革命女性」（『「最後の小説」』所収、単行本初出1988年、のち講談社学芸文庫）		
3	11/12(水)		澁澤龍彦『高丘親王航海記』（単行本初出1987年、のち文春文庫）		
4	11/26(水)		川野芽生『Lilith』（単行本初出2020年、書肆侃侃房）		
5	12/10(水)		笙野頼子『タイムスリップ・コンビナート』（単行本初出1994年、のち文春文庫）		
6	1/14(水)		杉本真維子『皆神山』（単行本初出2023年、のち『杉本真維子詩集』現代詩文庫所収）		
連絡事項	使用教材の入手等については、ガイダンスで説明します。				